

## FD委員会 2021 年度総括（自己点検・評価）

FD委員長 小林 正樹  
教務学生課長 目黒 裕二

### 1. 2021 年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

#### (1) 教育の質向上

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 2 年度の優秀教員による FSD 研修会『授業改善の取り組み—令和 2 年度 優秀教員に学ぶ—』を実施した。</li> <li>オンライン授業において特徴のある授業運営を行っている教員と教務委員長よりオンライン授業を行う上で留意すべき点についての FSD 研修会を行った。</li> <li>後期授業評価アンケートより、「共通学士力」における設問を追加した。学生の自己評価における可視化が可能となった。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会の動画、資料、報告書をデジエに公開するなど、好事例集の共有ができた。</li> <li>後期授業評価アンケートにおいて、学生の自己評価における「共通学士力」の可視化が可能となった</li> </ul>

#### (2) 授業のオープン化

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>優秀教員（教育分野）の対面授業とオンライン授業をLMS(WebClass)から視聴できるように設定し「オンライン授業参観」を行った。対面授業は自動録画システムを利用し、オンライン授業はオンデマンド教材を使用した。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>LMS(WebClass)を使用することにより、いつでも授業動画を視聴できる『授業参観』が可能となった。閲覧者は延べ 124 名が視聴した。</li> </ul>

#### (3) 学生との懇談会

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の意見や要望を授業運営等に役立てることを目的として各学科の学生 8 名と FD 委員会・企画部会から 5 名の委員が出席し懇談会を実施した。</li> <li>授業アンケートでは語られない学生の忌憚のない生の声を聴く機会となった。</li> <li>懇談会実施記録を作成し、全教職員に周知した。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生から率直な意見・要望等を聴くことができた。</li> <li>直ぐに実施できる「学生が思うオンライン授業に適した授業科目」については、直ぐにアンケートを実施し、各学科にフィードバックを行った。その他の意見については、今後の授業改善に活かすとともに、来年度以降も大学の主役である学生の思い、意見等を把握し、教育の質向上を目指す。</li> </ul>

#### (4) コロナ禍における授業アンケート回収率向上

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期・後期共にアンケート開始後に授業担当教員に科目毎の回答率を RPA を利用しメールで周知した。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期の回答率は、実人数で昨年度より 11.9 ポイント上昇し 73.9%。後期の回答率は、実人数で 30.6 ポイント上昇し 67.1%となり、大きな改善が図れた。</li> <li>毎週、授業担当教員に科目毎の回答率を共有したことにより、担当教員から受講生への周知がしやすくなった。</li> <li>R3 年度の目標が 70%であったため後期は未達成となった。</li> </ul>

#### (5) 教員業績評価の方法検討

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3.5 に導入した新たな本学教員データベースは、科学技術振興機構が運営している研究者データベースの researchmap との連携ができるシステムを選定した。</li> <li>代議員幹事会において、教員データベースの入力必須項目を定めた。</li> <li>学科長等より、教員データベース未入力者へ入力要請を行った。</li> <li>教員データベース未入力教員に対し、学科事務職員が入力の督促を行った。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力必須項目を決定することができ、教員がどの項目を入力すべきなのかが明確になった。</li> <li>未入力の教員に学科長等から直接入力を依頼した結果、全教員入力 100%が達成された。</li> </ul>

### 2. 課題および改善・向上の方策（『2021年度計画を踏まえての学長指示事項』への対応状況は、この欄に記載して下さい）

- 新たな教員業績の評価方法については、代議員幹事会で令和 4 年度も継続して検討する。
- 学修成果の可視化については、次年度導入予定の新教務システムとの連携を図る。

### 3. 特記事項

#### (1) 計画外の特筆すべき取組等

- 学修成果の可視化実現のため新教務システムの選定業者と協議を行った。

#### (2) 外部評価または指摘等

- 特になし